



第一回 弘前焼肉プロジェクト

抽選で、参加店で利用できる“高額”焼肉クーポンが当たるスタンプラリー開催!

- ①参加店にある応募ハガキに参加店のスタンプを3個押印してご応募ください。郵送または応募ハガキを撮影してメールでも応募できます。
- ②スタンプは利用額1,000円で1個押印できます。
- ③スタンプラリーと抽選は第1節と第2節に分けて行います。※発表は景品の発送に代えさせていただきます。
 - 第1節/スタンプラリー期間: **2021年12月中旬~31日**
→抽選: 2022年1月初旬→景品(焼肉クーポン)発送
 - 第2節/スタンプラリー期間: **2022年1月1日~23日**
→抽選: 1月25日頃→景品(焼肉クーポン)発送
- ④景品(クーポン券)/第1・2節の2回に分けて当選となります。
 - 1等/50,000円クーポン券 (1冊10,000円を5冊)を**10名様**に。(各回5名)
 - 2等/30,000円クーポン券 (1冊10,000円を3冊)を**20名様**に。(各回10名)
 - 3等/10,000円クーポン券 (1冊10,000円を1冊)を**190名様**に。(各回95名)
- ⑤クーポン券使用期間/**2022年2月13日**
お手元にクーポン券が届いてから、第1節・2節は関係なしに使用期限まで使用できます。使用期限までにご使用ください。



肉は食べる滋養強壮薬

疲労回復に、滋養強壮に。古くから人々は重要な栄養源として肉を食べてきました。縄文時代はとくにシカとイノシシが多く食べられ、大切な動物として土偶も作られました。弘前市内でも約4,000年前の猪形土製品「いのっち」が出土しています。

肉食禁止令が出された奈良時代以降も、僧侶であっても薬として肉を食べることは『僧尼令』で認められていました。江戸時代には彦根藩が薬として幕府に「牛肉のみそ漬け」を献上するほか、「薬食い」と称し、産後の肥立ちにはシカ、五臓の病にはイノシシが効くとされました。さらに明治時代になると、富国強兵をスローガンにかかげた新政府が福澤諭吉も『肉食之説』を著して肉食こそ心身の健康を叶える最良の滋養品と宣伝しました。

また、内臓、いわゆるホルモンも古くから薬効が知られており、正倉院にも牛胆が収められています。料理書では大正9年(1920)の『最新経済滋養料理』、昭和11年(1936)の『長寿料理』でホルモン料理を紹介しており、昭和4年(1929)に行われた食糧展覧会での講演では「内臓は栄養分に富みビタミンも多く柔軟で、夫々特有の美味を有する」とホルモン食が奨励されました。

ちなみに、ホルモン料理は明治中頃にはすでにあり、明治26年(1893)のルポルタージュ『最暗黒之東京』に車夫の食べ物として、現代の“どて焼き”にそっくりな料理が登場します。

焼肉パワーで、リベンジ!!コロナ!!

抽選で、参加店で利用できる“高額”焼肉クーポンが当たるスタンプラリー開催!

焼肉

- 1等 焼肉クーポン券 **50,000円** 10名
- 2等 焼肉クーポン券 **30,000円** 20名
- 3等 焼肉クーポン券 **10,000円** 190名

YAKINIKU PROJECT

参加店&MAP



焼肉でコロナをぶっ飛ばそうぜ!!実行委員会 (TEKUTEKU編集部内)
〒036-8011 弘前市山下町2-12 パインビル2F
☎0172-31-2136 FAX.0172-32-0081 / fsuply@ybb.ne.jp